



狛江市議会議員

山本あき子

総務・文教常任委員会所属

<http://yamamotoakiko.seikatsusha.me/>

狛江・生活者ネットワーク 議会レポート

No. 9

2018年7月31日発行

連絡先：狛江市議会 狛江・生活者ネットワーク
〒201-0003 狛江市和泉本町1-1-5（市役所3階）
電話 03-3430-1171
狛江・生活者ネットワーク事務所
電話 03-3430-1302、FAX03-5761-0678
e-mail:komanet.seikatusya@nifty.com

狛江・生活者ネットワークは二人で会派を組んでいます。
まちの課題など市政へのご意見をお寄せください。

狛江市議会第2回定例会の報告をします。
会期は2018年6/4～6/28でした。



狛江市議会議員

吉野よしこ

建設・環境常任委員会所属

<http://yoshino.seikatsusha.me/>

セクハラという人権侵害の要因は社会(職場)の構造にある 特別な誰かの被害ではない 被害を繰り返さないために 変えよう！セクハラ・性暴力のことを話せる狛江に

圧倒的に多い女性への暴力、差別は日本の社会構造、権力構造と密接な関係

今年6月29日、英国放送協会BBCで「日本の秘められた恥」(Japan's secret shame)と題したドキュメンタリーが放映されました。昨年5月自身の受けた性暴力被害の処分に対する不服審査の申立てを行い、社会の在り方を変える為に実名を公表して活動しているジャーナリスト伊藤詩織さんをおして問いかけています。番組では伊藤さん本人のほかにも支援と批判の双方の意見を取り上げ、日本の司法や警察、政府の対応等の問題に深く切り込んでいきます。



女性参政権記念集会にて伊藤詩織さんと

専門家によると、日本では法整備に問題があり、被害者が声を上げるのは極めて難しく、多くが泣き寝入りせざるを得ない現状です。また警察では、男性警察官に状況を説明しなければ

ならず、細部にわたって再現させられたそうです。その捜査自体がセカンドレイプである番組では指摘しています。さらに女性の国会議員が「彼女は女性として落ち度があった。働いていれば女性としてセクハラなどは当たり前。私にも経験がある。それを断るのもひとつのスキル」と発言してバッシングに加担し、世界中の視聴者からの批判が相次いでいます。セクハラ・性暴力は上司や顔見知りから被害を受けることが多い、実際に相談できるのは全体の43%に過ぎないそうです。



被害者支援の佐藤かおりさんと

番組の中で「日本では我慢強い、忍耐強いというところが美德とされます。でも、この痛みを我慢して、沈黙しても何にもならない」と伊藤詩織さんの言葉が胸に刺さりました。
身近な狛江市で顕在化されたハラスメント・性暴力：ジェンダー平等社会をめざし、被害届を出しやす環境整備に向けて

狛江市においても、前市長辞任のきっかけとなったのは、被害を受けた職員による実名抗議でした。その勇氣に敬意を表するとともに、この行動と勇氣は次の
誰かの勇氣へときつとつながっていくだろうと思えます。顕在化した3月議会以降、それまで見えなかった差別がこんなにも多く、身近に存在していたことに気づかされ驚愕する毎日でした。「セクハラぐらいで」「セクハラは微妙な問題」「女を武器にする女もいる」という言葉が男性からも女性からも聞かれ、ハラスメントに対する正しい理解やジェンダー平等社会との隔たりを痛感します。
しかし一方で、研究者や加害者臨床、被害者支援に携わる方たちとの出会いから多くを学ぶことも出来ました。すべての人の人権が尊重され、一人ひとりが大切にされる社会を目指すとはどういうことか、前市長のセクハラ問題に苦しんだ狛江市だからこその出来ることがあるはずで、今後は市民の皆さんと一歩ずつ取り組んでいきたいと思えます。
(市議会議員山本あき子)

議会報告



◆市内小中学校のブロック塀緊急点検

大阪北部の地震でブロック塀が倒壊し、登校中の児童が下敷きになり死亡する事故が発生したことを受け、市内小中学校等の接道部分を目視点検しました。旧第四小学校西側のブロック塀が、上部を渡り廊下の支柱で固定されているものの現在の基準を満たしていないと判明し、7月2日から5日の日程で撤去を行い、現在はベニヤ板の囲いを設置してあります。今後も施設の危険等が判明した場合には速やかな対応をしていくとのことです。

◆受動喫煙の防止に向けて指定喫煙場所の改修

狛江市路上喫煙等の制限に関する条例の一部を改正する条例は全会一致で可決されました。指定喫煙場所改修委託に約520万円の補正予算を組み、北口8メビウス広場近くの喫煙所から改修する予定です。仕切りを高くし、スペースを広げることで受動喫煙の被害を緩和します。11月には改修を完了する予

定だとのことです。来年度は指導員の巡回を強化し、悪質な例には過料する方針です。

◆小学校厨房施設の増改築に伴う備品購入

狛江第一小学校の厨房用備品購入契約は予定価格2000万円以上の動産購入につき議会の議決が求められました。大規模集合住宅建設による児童の増加に対応するため、給食室の増改築を行います。これに伴う厨房用備品の購入であり、総額約4600万円です。調理器具の経年劣化が激しいことと、現在750食の調理能力が1000食まで対応可能になるとのことです。

◆いよいよ始まった新児童館建設・待望の中高中生室、防音室も

(仮称)北部児童館新築工事の請負契約について承認しました。施設の概要は鉄骨造地上2階建て、主要諸室は玄関ホール、遊戯室、ひろば・授乳コーナー、図書館、リースペース、相談室など。中高生室と防音室は大きな特徴です。工事のスケジュールは今年6月着手、来年2月竣工、4月1日開館予定です。(市議会議員吉野よしこ)



こまエコまつりにて…簡単!生ごみを土にまぜるだけ“キエーロ”

掲示板 みんなの居場所 50食限定 つくって たべようー!

8月は13日(月曜日)と14日(火曜日)の連続2日
10:00~15:00(食事は12:00から)
食べるだけでもOKです
肉味噌そうめん等
のんびり😊居場所
西河原公民館2階・アレルギー対応はしていません
後援: 狛江市、協力団体: ★こまえくぼ1234★フードバンク狛江



国際水準のSOGI都条例を求める集会にて: ネット都議山内れいこ(左から二人目)、勝間和代さん(右から二人目)らと



吉野よしこの一般質問

◆市民の声を反映したまちづくりをすすめよう!

市民食堂の利用者は現在1日100人程度とのこと。接客の改善と開店から5年の区切りとして利用者アンケートの実施を提案しました。

狛江駅構内から南北通路に出る2段の階段は踏み外す方をよく見かけるので、安全性の確保の必要を指摘しました。劣化の著しい岩戸せせらぎ遊歩道の舗装は10月ごろ

ろから修繕し今年度中に終了予定とのこと。多摩川の景観の美化を図るため看板の刷新やポール等の修理も要望しました。

今年3月に市民活動支援センターで子どもに呼びかけてウォールペイントのイベントが行われました。窓や壁を彩るカラフルな絵が市民の目に留まり、センターの利用が活発になることが期待されます。

◆「ケアラー」を理解し支え合う社会をつくらう

ケアラーとは要介護者や障がい者の介護、難病などの看病、障がい児の療育、さら

には引きこもりや依存症等の家族や知人の世話や気遣いなど、ケアの必要な人達を無償でケアする方々です。一人親を介護する子どももケアラー、今や4割となっている男性介護者や若いケアラーが存在し、情報もなく孤立しかねない現状には対策が必要。ケアラーの実態調査、支援のための人材育成と当事者を支えるために有効なケアラー手帳の導入を提案しました。さらにケアラー支援法の必要性を訴えました。認知症サポーター講座受講者に活動の場や機会を設けるよう要望しました。



山本あき子の一般質問

◆被害者バッシングを許さない #MeToo か #WithYou く

議会初日に辞任した前狛江市長は、辞意表明会見でもセクハラ被害者が望む公の謝罪をしなかっただけでなく、「セクハラレベルではないがセクハラと言われればセクハラ」「セクハラと感じやすい人」「だいたい誰だか分かっている」「トラブルを起こしやすい、思い込みの激しい人」という2次加害を残しました。今後に向けて

◆「生きるための支援」につなげる自殺対策を!

狛江市では自殺対策計画の策定が予定されています。自殺の原因は一つではなく健康問題、経済、生活問題、家庭問題、学校問題など様々な原因が複合的に連鎖し、一定の経路をたどることが分かっています。昨今自殺者数は減少しているものの、増加している未成年者の自殺に對し、実効ある手立てが必要。部署に拘らず職員にはゲートキーパー研修の充実を、教育関係者には学校における「SOSの出し方研修」を活用するよう要望しました。